



ミータス
meetus 山科-醍醐

みんなで創るまちPLAN 中間とりまとめ

資料集

【目次】

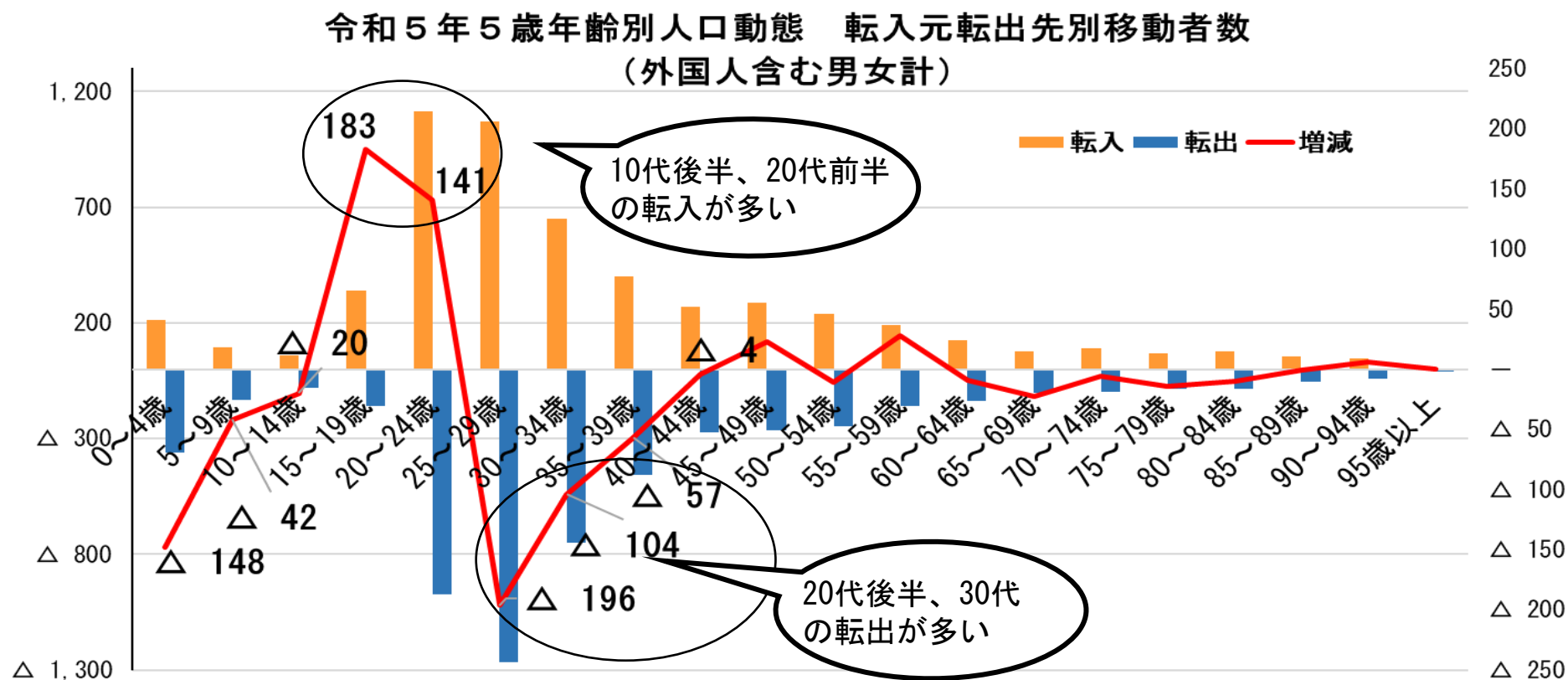
1. 人口動態等
2. 頂いた御意見
3. 地域の資源
4. これまでの経過
5. まちづくりの考え方
6. 取組の方向性
7. 今後の進め方

令和6年11月22日

1. 人口動態等 ～年齢別人口動態（山科区、令和5年）～

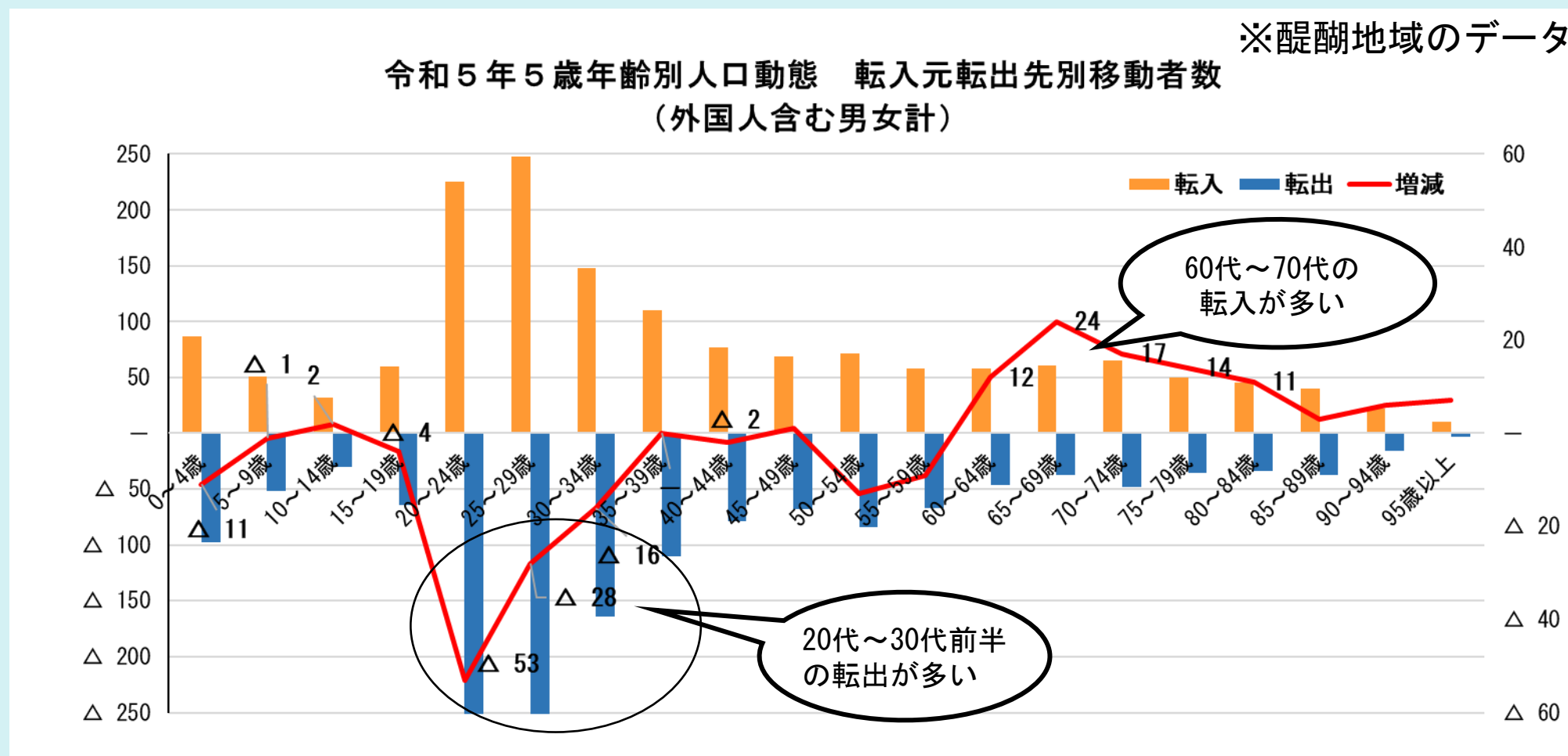
- 若年層の転入が多い一方で、未就学児・子育て層の転出が多い
- 市平均を上回る高齢化率 ※高齢化率（令和2年時点） 市平均：28.2% 山科区：31.1%

※山科区のデータ



1. 人口動態等 ～年齢別人口動態（伏見区醍醐地域、令和5年）～

- 20歳代から30歳代前半の若年・子育て層の転出が多い。
- 市平均を上回る高齢化率 ※高齢化率（令和2年時点） 市平均：28.2% 醍醐地域：35.7%



1. 人口動態等 ～転入・転出の状況（山科区、令和5年）～

● 子育て層（30歳～39歳）の市外（特に滋賀県）への転出超過が顕著

山科区 転入元・転出先(外国人含む)	30～34歳男性			30～34歳女性			35～39歳男性			35～39歳女性		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減
令和5年												
総数	341	369	△ 28	307	383	△ 76	212	250	△ 38	189	208	△ 19
市内合計	110	92	18	103	104	△ 1	78	79	△ 1	65	73	△ 8
市外合計	231	277	△ 46	204	279	△ 75	134	171	△ 37	124	135	△ 11
京都府内合計	24	42	△ 18	25	40	△ 15	13	27	△ 14	10	18	△ 8
北海道・東北・北関東合計	6	8	△ 2	7	13	△ 6	4	8	△ 4	5	4	1
東京近郊合計	27	32	△ 5	26	30	△ 4	13	13	0	18	8	10
東京都	10	18	△ 8	12	17	△ 5	6	7	△ 1	8	6	2
近畿地方合計	97	132	△ 35	87	137	△ 50	60	87	△ 27	52	73	△ 21
滋賀県	44	69	△ 25	35	71	△ 36	20	38	△ 18	20	35	△ 15
大津市	22	46	△ 24	18	42	△ 24	6	24	△ 18	9	20	△ 11
湖南地域	13	16	△ 3	12	25	△ 13	8	10	△ 2	7	11	△ 4
大阪府	36	45	△ 9	36	44	△ 8	25	33	△ 8	28	28	0
大阪市	16	18	△ 2	12	22	△ 10	12	11	1	11	13	△ 2
三島地域	4	12	△ 8	9	7	2	4	12	△ 8	5	4	1
兵庫県	11	11	0	10	17	△ 7	8	12	△ 4	3	7	△ 4
国外	23	21	2	15	16	△ 1	20	7	13	20	12	8

※令和5年 住民基本台帳人口から抽出

1. 人口動態等 ～転入・転出の状況（伏見区醍醐地域、令和5年）～

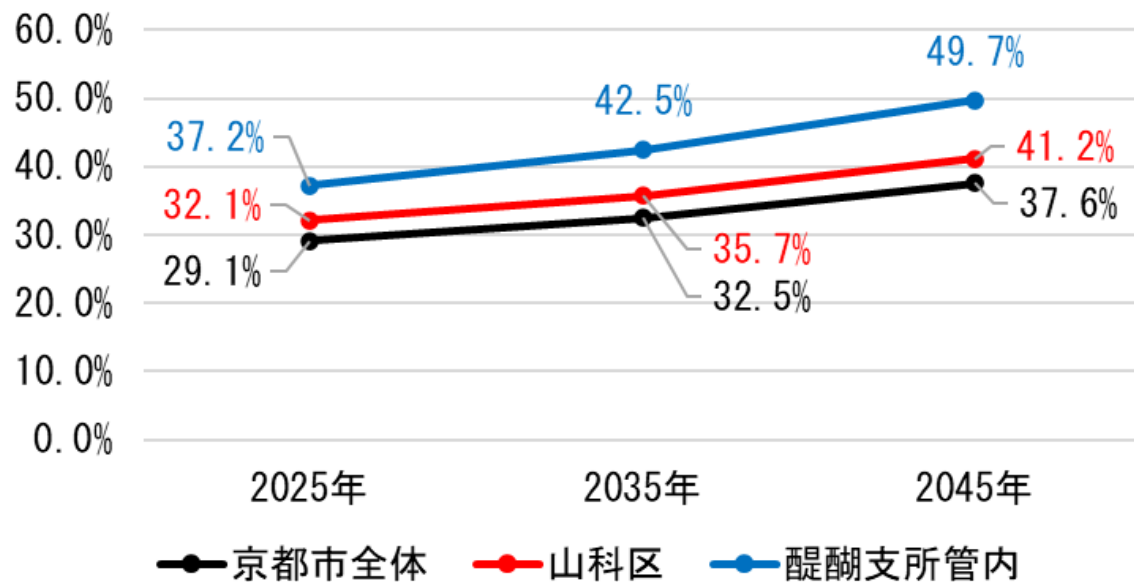
- 20歳台の東京都、滋賀県、大阪府などへの転出超過が見られる

醍醐管内 転入元転出先(外国人含む。)	20～24歳 男			20～24歳 女			25～29歳 男			25～29歳 女			30～34歳 男			30～34歳 女		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減
令和5年																		
総 数	116	141	△ 25	109	137	△ 28	103	136	△ 33	145	140	5	78	81	△ 3	70	83	△ 13
市内合計	23	37	△ 14	20	39	△ 19	36	30	6	48	44	4	26	24	2	24	29	△ 5
市外合計	93	104	△ 11	89	98	△ 9	67	106	△ 39	97	96	1	52	57	△ 5	46	54	△ 8
京都府内合計	14	16	△ 2	11	16	△ 5	22	33	△ 11	19	22	△ 3	14	18	△ 4	9	13	△ 4
宇治市	10	7	3	5	7	△ 2	13	16	△ 3	13	15	△ 2	3	13	△ 10	6	6	—
北海道・東北・北関東合計	6	7	△ 1	4	0	4	0	3	△ 3	5	1	4	3	1	2	3	1	2
東京近郊合計	8	20	△ 12	3	25	△ 22	10	14	△ 4	14	14	0	5	3	2	5	8	△ 3
東京都	2	12	△ 10	2	14	△ 12	3	6	△ 3	4	6	△ 2	1	2	△ 1	2	4	△ 2
近畿地方合計(京都府内を除く。)	32	36	△ 4	31	38	△ 7	19	34	△ 16	25	36	△ 11	19	24	△ 5	16	15	1
滋賀県	2	12	△ 10	10	17	△ 7	2	11	△ 9	11	7	4	4	6	△ 2	2	11	△ 9
大津市	2	2	—	1	5	△ 4	—	6	△ 6	3	4	△ 1	—	2	△ 2	—	6	△ 6
湖南地域	1	1	—	5	6	△ 1	1	3	△ 2	3	1	2	2	3	△ 1	2	3	△ 1
大阪府	2	12	△ 10	13	13	0	11	13	△ 2	8	19	△ 11	12	8	4	11	3	8
大阪市	5	10	△ 5	3	6	△ 3	8	5	3	2	11	△ 9	8	2	6	5	1	4
北河内地域	4	5	△ 1	3	2	1	2	3	△ 1	6	5	1	—	3	△ 3	—	—	—
国外	11	3	8	17	2	15	6	3	3	20	10	10	3	4	△ 1	9	9	—

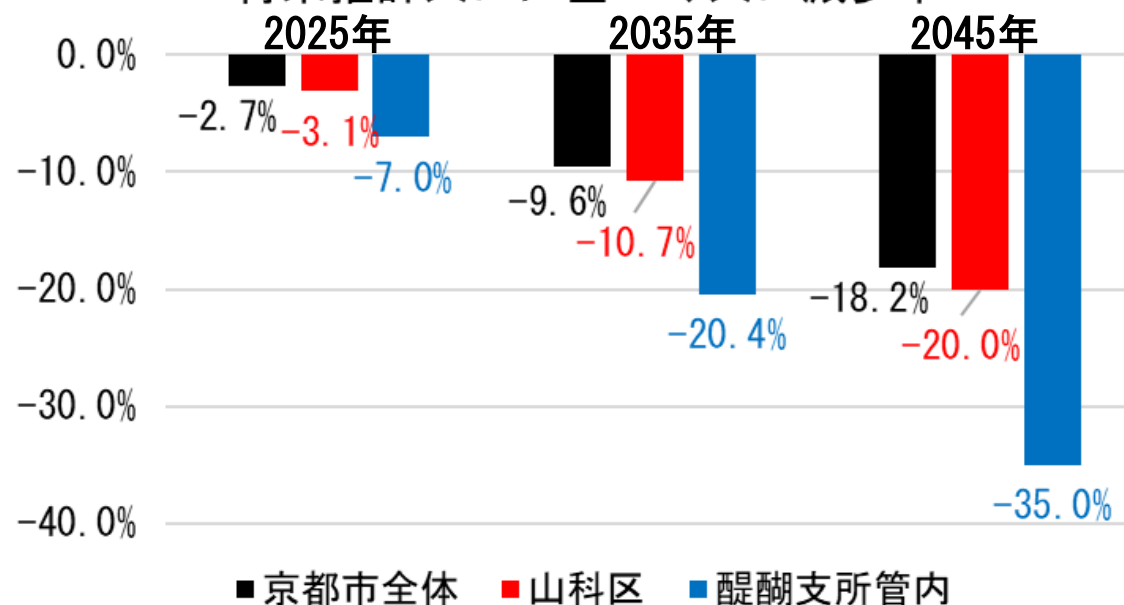
1. 人口動態等 ～将来推計人口～

- 市平均を上回る早さで高齢化、人口減少が進行する見込み。

将来推計人口に基づく高齢化率



将来推計人口に基づく人口減少率



※2020年を基にした京都市独自推計

2. 頂いた御意見 ～市民の御意見～

● 魅力的な**公共空間**や**公有地の活用**に対する大きな期待

■市民意見募集

令和6年7月22日から、京都市情報館等において、山科・醍醐地域のまちづくりへのアイデア・意見を募集。

令和6年9月末時点で**519通**、**663件**の御意見を頂いている。

公共空間、公的施設・駅など（104件）

- ・ 家族で楽しめるような**公園**や**屋内遊び場**を。
- ・ **スケートボード**や**3 on 3 バスケット**ができる公園をつくって欲しい。
- ・ 魅力的な**図書館**が欲しい。
- ・ **山科駅**など主要駅周辺をもっと魅力的に！

公有地・公共施設の有効活用（96件）

- ・ 東部クリーンセンター跡地が、**自然**を取り入れた**多世代**が活用できるような場所になって欲しい。
- ・ 市営住宅の空き住戸をリフォームして**若い人向け**に活用すべき。

交通・道路（55件）

- ・ **バス**交通の利便性を向上して欲しい。
- ・ ベビーカーや子どもが安全に通行できる**道路**の整備を進めて欲しい。

子育て、教育環境（49件）

- ・ 習い事に行かなくても様々な**体験**ができる環境や機会があればよい。

コミュニティ、交流（39件）

- ・ 地域内外の人と気軽に**集まる**ことのできるまちづくりを進めて欲しい。

歴史・観光資源（25件）

- ・ **自然**を活かしたトレイルランなど、エコツーリズムを推進しては。
- ・ 寺社仏閣等の**歴史資源**をもっとPRしては。

2. 頂いた御意見 ～不動産事業者の御意見～

■ヒアリング対象
山科・醍醐地域で活動されている不動産事業者（計6者）

子育て層の転出が多い理由

- ・滋賀県はJR沿線で大阪などに通勤もしやすく、ランチ大津京などの新たな商業施設もあるなど、総合的に見て滋賀県が住みやすいという声はよく聞く。
- ・子どもが遊べる環境が少ないという声を聞く。公園や図書館など、子どもの居場所となる場所がもっとあれば住環境としてより良くなるのではないか。

エリアのイメージ

- ・地元愛が強いという印象。アーティストが多く、本業をしながら音楽を楽しむ方が多い。
- ・マルシェやイベント、お祭りが活発。
- ・山科は道が狭く、不動産が売れにくい印象がある。醍醐は比較的広い道が多い。

今後期待したいこと等

- ・人と人が交流する場が必要だと思う。
- ・子育てを終えた方が新しいことにチャレンジできる環境があればいい。
- ・実際に住んでみたら、多くの方に「住みやすい」と思ってもらえるエリア。
- ・若者、高齢者とも、一人で過ごしている方が多いという印象。もっと気軽に集まれる場所があり、その場所があることが知ってもらえれば、と思う。

3. 地域の資源 ～公共空間、公有地など～

栂辻駅周辺



山科区総合庁舎



東野公園



東部文化会館



山科地域体育館

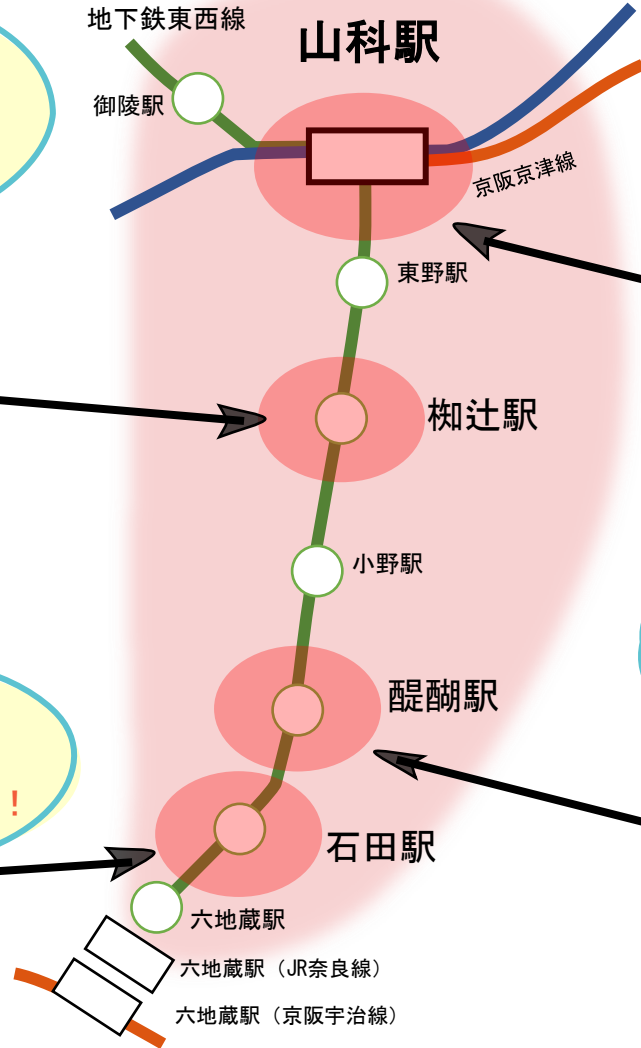
駅直結の区役所！
大きな公園、体育館、
文化会館が集中！
買い物や通学も便利！

石田駅周辺



東部クリーンセンター跡地

40,000㎡を超える
大規模公有地を
未来に向けて活用！



3線が結節！
京都駅に次ぐ利用者
を誇るまちの拠点！



ラクト山科

山科駅周辺



山科駅

商業施設と図書館・
体育館・ホールなどが
集まった駅直結の便利施設！
大きな公園も近接！



パセオ・ダイゴロー

醍醐駅周辺



醍醐交流会館



折戸公園

市民の共有財産である公共空間、公有地が豊富に存在する一方で、老朽化などにより時代に合わせたりリニューアルが必要

3. 地域の資源 ～コミュニティ、歴史・観光資源など～

充実した子育て環境

- ・ 多くの保育施設・児童館、小中一貫校の創設（R7～）



豊かな自然環境

- ・ 森林や河川（山科川など）



安心・安全・地域コミュニティ

- ・ 地域ぐるみの安心安全の取組や、あらゆる世代の交流活動



多くの歴史・観光資源

- ・ 醍醐寺、毘沙門堂、勧修寺、山科疏水など



地域に連綿と受け継がれるコミュニティ、自然、歴史・文化がある一方で、市平均と比べ高齢化が進んでいるという課題も

4. これまでの経過 ～「洛西」と「山科-醍醐」～

- 昨年は洛西、今年は山科・醍醐で地域協働型の活性化プロジェクトを始動。
- 住民・事業者・行政が共に取り組むまちづくりを、東西の周辺部で、中長期的に進めていく。



4. これまでの経過 ~洛西“SAIKO”プロジェクト~

住民・事業者・行政が共に取り組むまちづくりが進行中！



行政が中心となり
作成した実行策を元に、
プロジェクトに賛同する
住民や団体等と
職員が一緒になって、
取組を推進



10年後の理想の暮らし、
公共空間の使い方につな
がる社会実験を実施！



4. これまでの経過 ~meet us 山科-醍醐~

目標

地域の魅力やポテンシャルを最大限活かし、あらゆる世代がワクワクするような山科・醍醐を、地域の皆様とともに目指す。

推進本部の
立ち上げ

地域の皆様のご意見を伺いながら
取組を検討

中間とりまとめ
の発表

令和6年
4月

6月13日
市民対話会議
(山科区)

7月19日
市民対話会議
(醍醐支所)

7月22日
意見募集開始

10月13日
醍醐ふれあい
プラザ

地縁組織、志縁組織の皆様や
地域の方々が集まる場
でご意見を頂く

2箇月に1回程度の頻度で全庁的な会議を開催し、議論

令和6年
11月

Now

全庁横断で取組を検討

5. まちづくりの考え方 ～取組を進めるに当たっての視点～

- 山科・醍醐地域は、昭和40～50年代の住宅難を解消するため、官民それぞれが住宅を大量に供給することにより市街地が形成
- 現在は、**インフラの老朽化**と**少子高齢化**が同時に進行中



- 現状分析（人口動態、地域の資源など）や頂いている御意見などを踏まえ、**目指すまちの将来像**を設定
- 山科・醍醐が持つさまざまな**資源に更なる価値を付与**しながら、**現在・将来のニーズに対応する機能へと更新**することで、まちの魅力を中長期的に向上

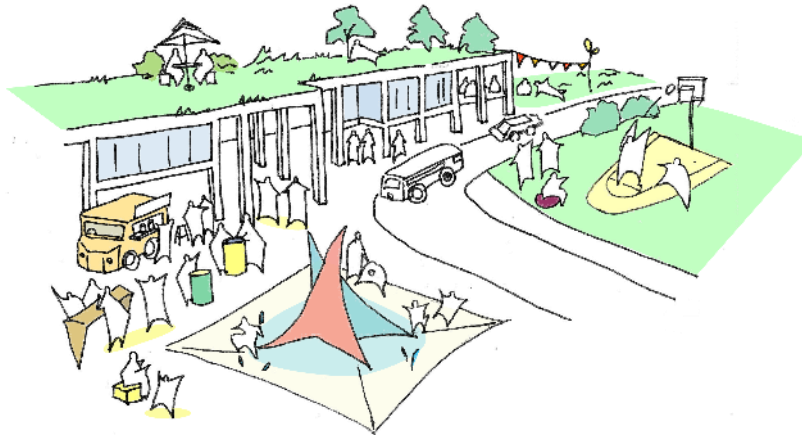
5. まちづくりの考え方 ～大きな方向性と将来イメージ～

新しい公共空間をみんなで創っていく。

- 公園、公共施設、市営住宅などの**公的資産を積極的に活用し、多様な世代の居場所**を創出。
- 民間アイデアも積極的に採用し、山科・醍醐の新しい景色を、**住民・事業者とともに作り上げていく。**

将来
イメージ

時代に合わせて変化しつづけるまち
～未来につながる～



将来
イメージ

多様な世代がゆるやかにつながるまち
～まち全体で子どもを育む～



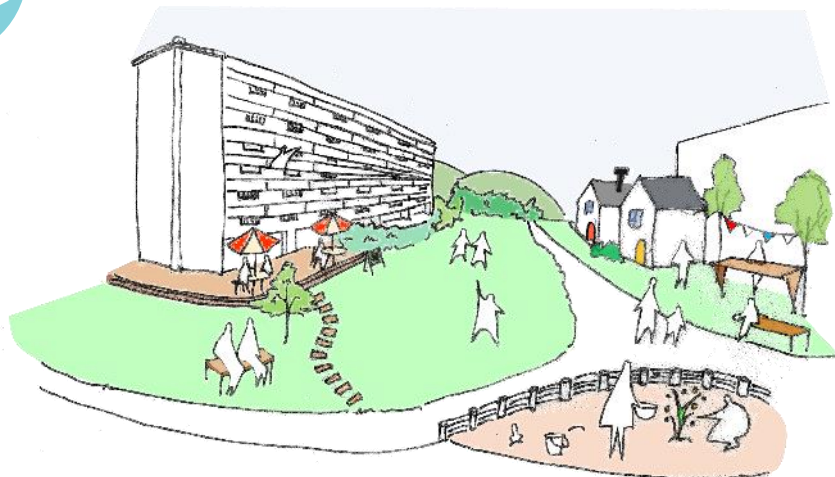
5. まちづくりの考え方 ～大きな方向性と将来イメージ～

多様な人々が集まり、 文化・教育のまちづくりを展開していく。

- 文化や教育を大切にしながら、中長期的にまちの魅力を向上
- 多様な人々が**住み、学び、つながる**ことのできるまちへ

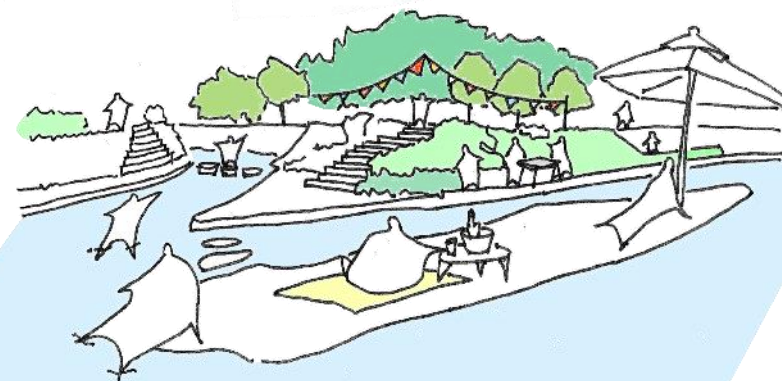
将来
イメージ

住まいと暮らしが満たされるまち
～ヒューマンスケールで生活しやすい～



将来
イメージ

歴史・文化を次世代につなぐまち
～地域の歴史・文化・自然を実感できる～



6. 取組の方向性（検討中のものを含む）

1 時代に合わせて変化し続けるまち ～未来につながる魅力的なまち～

(1) まちの拠点となる駅や駅周辺の魅力向上

（山科駅周辺）

- 特急はるかの山科駅への延伸
- 山科駅周辺の魅力向上・利便性向上の検討

（柳辻駅周辺）

- みんなでつくる新しい公共の場づくり（東野公園など）

（醍醐駅周辺）

- みんなでつくる新しい公共の場づくり（パセオ・ダイゴロー、折戸公園など）

（石田駅周辺）

- 東部クリーンセンター跡地の活用による石田駅周辺の魅力向上

6. 取組の方向性（検討中のものを含む）

2 多様な世代がゆるやかにつながるまち ～まち全体で子どもを育むまち～

- (1) 子どもをはじめとする多様な世代が集える環境づくり
 - 一緒につくりあげていく新しい公園
- (2) 子どもが学びやすい環境づくり
 - 栄桜小中学校（令和7年4月開校）における特色ある教育の充実
 - 地域・企業・大学等と連携した体験活動の充実
- (3) 子どもの居場所づくり
 - 若者の居場所の充実

6. 取組の方向性（検討中のものを含む）

3 住まいと暮らしが満たされるまち ～ヒューマンスケールで生活しやすいまち～

(1) 多様な住まいの確保

○住まいの選択肢の充実につながる、多様な住宅の供給を促進

(2) 持続可能な交通ネットワークの構築

○持続可能な公共交通に向けた取組（地下鉄・バスの利用促進 など）

○シェアサイクルポートの設置促進

○都市計画道路の着実な整備

(3) 地下鉄東西線駅における賑わいの創出

○コトチカへの魅力的な店舗の誘致など駅ナカビジネスの推進

○駅構内における社会課題解決の貢献の取組

6. 取組の方向性（検討中のものを含む）

4 人から人へ、歴史・文化を次世代につなぐまち ～地域の歴史・文化・自然を実感できるまち～

(1) 歴史・文化資源を生かした周遊観光の推進

- とっておきの京都プロジェクト等による山科・醍醐エリアの魅力発信
- 府市連携による周遊観光「まるっと京都」の推進

(2) 地域の魅力の再発見と継承

- 地域の歴史を学ぶ機会の創出
- 地域や人の魅力を伝える情報発信

(3) 地域の自然を活かしたまちづくり

7. 今後の進め方

ポイント

地域のご意見やご提案も受けながら、具体策を検討

共に取り組める
提案を募集！

地域の皆さまと共に取り組める提案を募集！

Now

令和6年
11月

11月23日
ふれあい” やましな”
2024区民まつり

12月5日～8日
パセオ・ダイゴロー
での社会実験

地域の方々が集まる場
で引き続き意見交換

推進本部会議（適宜）

令和7年
3月

取組の方向性
の発表

引き続き、具体策を検討

取り組めることから実行

取組の具体策
の発表

具体策の
実行